

SSKO 2023. 6. 25
No. 151

町田ヒューマンネットワーク

〒194-0013

東京都町田市原町田2-22-26 1F

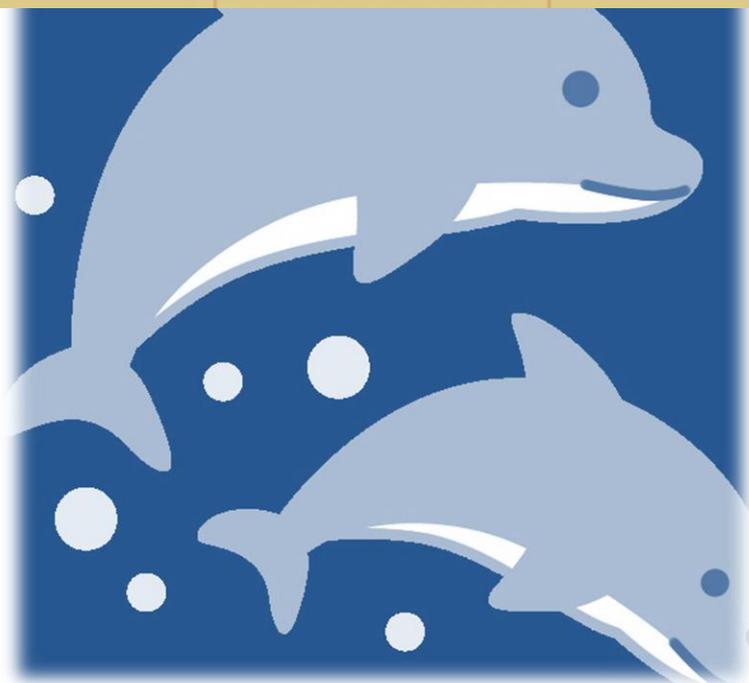
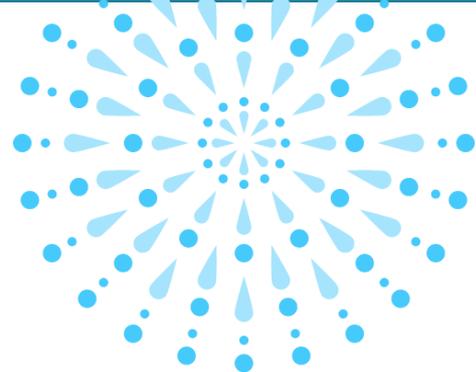
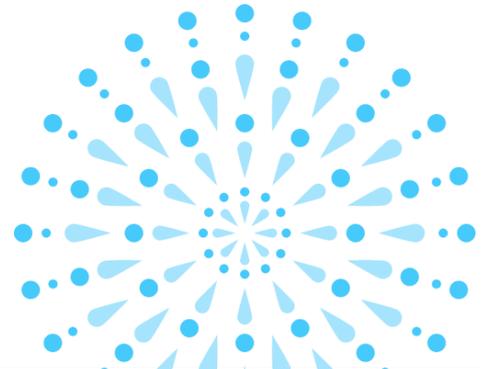
TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <https://www.ci-mhn-enjoy.com/>

E-MAIL mhn89@nifty.com

もくじ 目次

理事会・総会報告	2
ピア・カウンセリングセミナー報告	4
ほっとカフェMお花見報告	4
咲緒さんの旅行記	5
馬場さん追悼文	9
利用者 + α 交流会報告	11
ヘルパー募集	13
MHNの動き	15
イベントお知らせ・編集後記	16



り じ かい そ う かい かい さい
理事会・総会が開催されました

り じ ち ょう つ つ み あ い こ
理事長 堤 愛子

て い れ い り じ かい そ う かい かい さい
● 定例理事会・総会開催

が つ に ち に ち だ い かい り じ かい だ い かい ほう じ ん そ う かい かい さい ず ー む かい さい い かい
5月28日(日)、第72回理事会、第25回法人総会が開催(Zoom開催)され、以下
の 内 容 が 審 議 さ れ 、 可 決 さ れ ま し た 。

り じ かい ぎ け つ じ ち ょう そ う かい し ょ う に ん じ ち ょう
理事会議決事項、総会承認事項

- (1) 2022年度事業報告(監査報告)
- (2) 2022年度決算報告(監査報告)
- (3) IL部門の存続について
- (4) 特定相談事業の休止について

ほう け ん じ ち ょう そ う かい
報告事項((2)(3)は総会のみ)

- (1) 運営会員入会について
- (2) 2023年度事業計画
- (3) 2023年度予算

ね ん ど じ ぎ ょう け い かく よ さ ん が つ に ち だ い かい り じ かい かい さい かけ つ
2023年度の事業計画、予算については、3月22日に第71回理事会を開催し、可決さ
れ て い た た め 、 今 回 の 総 会 で は 報 告 の み と な り ま し た 。

う ん え い かい り ん に ち ゅ う かい い かい に ん に ち ゅ う かい ほう け ん
運営会員入会については、以下の3人の入会が報告されました。

た な か ゆ う ね ん が つ に ち し ん せ い
田中 優 (2023年1月31日申請)
ひろ せ あ や ね ん が つ に ち し ん せ い
廣瀬 綾 (2023年1月31日申請)
ふ く だ け ん じ ね ん が つ に ち し ん せ い
福田 顕司 (2023年1月31日申請)

また、役員体制については今年度は任期途中のため、以下の通り変更ありません。

現在の役員 (2022.5.26～2024.5.25)

理事	堤 愛子 まつばら のぶゆき	愛子 (理事長) ※ 信幸 (副理事長) ※
	秋元 麻紀子 あきもと まきこ	
	安藤 信哉 あんどう しんや	※
	李 幸宏 い へんぐえん	※
	笠井 幸祥 かさい ただよし	
	黒寄 隆 くろさき たかし	※
	小島 馨 こじま かおる	

監事 山本 奈緒子 ※

※……障害当事者

●「IL部門廃止」が可決されました

今回もっとも大きな議題であった「(3) IL部門の存続について」は、事務局内でも議論を重ね、事前に運営会員の皆さまと過去の理事長からの意見を伺うなどしたためか、ご理解をいただき、以下の5つの提案が理事会で可決されました。

1. IL部門は閉鎖とする。
2. 今後は新たな理念「みんなで幸せになる」を共通理念(暫定案)とし、部門を分けずに、ひとつの部門の中で「障害者の自立の支援」と、その一環である「介助派遣事業」を行う。
3. 現状では、ヘルパー派遣を核としながら、ILの手法を学び、自立のサポートを継続していける体制をめざす。
4. 代表、事務局長は障害の有無にこだわらず、適任の人を選んでいく。
5. 今後も障害を持つ職員の雇用を進め、協働をめざす。

なお、IL部門は今年度いっぱい継続します。来年度からの新体制に向けて、会員、利用者の皆さまに極力不安を抱いたり不便を掛けたりすることのないよう、IL部門とマイライフで協働して、業務の引き継ぎ等を行っていきます。
今後とも、よろしく願います。

ねんどだい かい 2022年度第3回 こうかい ピア・カウンセリング公開セミナー かいさいほうこく 開催報告



ねん がつ にち しゅく もく ねんど
2023年2月23日(祝・木) 2022年度
かいめ こうかい かい
3回目のピア・カウンセリング公開セミナーを開
さい か へ ねん かい かいさい はじ
催しました。コロナ禍を経て、年3回の開催を初
め達成できました。これも偏に参加してくださ
る皆様、スタッフの皆様の協力のおかげです。あ
りがとうございました。

ことし こうかい とくちょう
さて、今年の公開セミナーの特徴として、
しょうがい かつ さんか
障害のない方の参加がなかったことです!!!

こうかい ざいたくしょうがいしゃ じりつ しゃかいさんか はか もくてき こうせい
この公開セミナーは、「在宅障害者の自立と社会参加を図ること」を目的とした厚生
ろうどうしょう しちょうそんしょうがいしゃせいかつしえんじぎょう いっかん はじ しえんじぎょう
労働省の「市町村障害者生活支援事業」の一環として始めたものでしたが、支援事業もな
くなった今も広く、私たちが取り組んできた手法をご紹介するためにやり続けてきたセミ
ナーでした。今では「ピア・カウンセリング」という言葉もメジャー?になって障害者の
じりつ しゃかいさんか すこ やくだ なかねん
自立と社会参加に少しでも役立っていただけたら長年やってきたかいがあります。

こうかい じかい がつ とうほうじん さいご よ さんか
公開セミナーも、次回7月が当法人での最後となります。良かったらみなさんぜひご参加く
ださい、一同貴方の参加を楽しみにお待ちしております。【吉野】

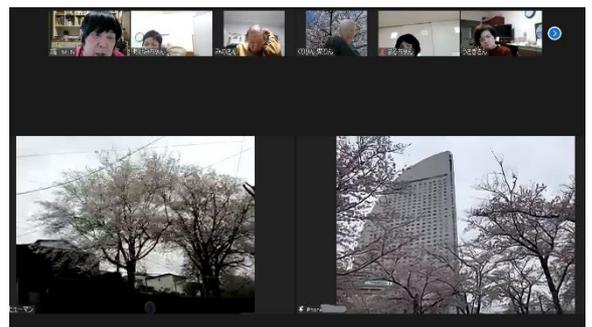
えむ はなみ ほっとカフェMお花見バージョン

しんがた りゅうこう とも まちだ はなみ ちゅうけい しょう
新型コロナの流行と共に、町田ヒューマンネットワークでは、「お花見中継」と称して
そと さくら ようす じょうれん かつがた まちだ さくら めいしょ
オンラインで外の桜の様子をカフェスタッフとカフェの常連の方々とで、町田の桜の名所
ちゅうけい さんかしゃ みな じもと さくら しゃしん ちゅうけい しょうかい
を中継したり、参加者の皆さんからの地元の桜の写真や中継を紹介しながらの、「ほっ
とカフェMお花見バージョン」を行ってきました。

ことし てんき しゃしん そら ねがみいろ まちだ おんだがわしゅうへん さくら
今年、あいにくの天気写真のように空は鼠色でしたが、町田の恩田川周辺の桜や、
しょうわやくかだいがくまえ さくらなみき よこはま ちく さくら しゅこう
昭和薬科大学前の桜並木や、横浜のみなとみらい地区の桜などオンラインならではの趣向
さんかしゃ かくち さくら たんのう
で、参加者みんな各地の桜を堪能しました。

がっ しんがた かんせんしょう るいそうとうあつかい
5月には、新型コロナ感染症も5類相当扱いとな
ほうほう えむ はなみ
り、この方法での「ほっとカフェMお花見バージョン」は
ことし さいご ねんかんみな すてき さくら
今年で最後となりますが、3年間皆さんから素敵な桜と
えがお いただ かんしゃ
笑顔をいっぱい頂けてとても感謝しています。

らいねん ぜ ひ みな あつ はなみ よしの
来年は、是非、皆で集まってお花見しましょう。【吉野】



さきお りょこうき 咲緒さんの旅行記

高橋咲緒さん(47歳)は、重度の身体障害と知的障害を併せ持っており、言葉によるコミュニケーションが困難な女性です。現在は都営住宅に住み、昼間は生活介護、朝晩と休日はヘルパー(重度訪問介護)の支援を受けながら生活しています。MHNが支援しているひとり暮らし障害者の中では、おそらく最重度の方です。以前にも、本誌MHNニュースや30周年記念誌等でその生活ぶりをご紹介しているので、ご記憶している方も多いのではと思います。

その咲緒さんが、昨年秋、生まれて初めての海外旅行にチャレンジしました。同行した母の幸恵さんに旅行記を寄せていただきました。

【堤】



さきお はつかいがいりょこうき かんこく 咲緒の初海外旅行記(韓国)

たかはしゆきえ
高橋幸恵

娘が心臓や腎臓の数値が悪くなっていることを、Drから知らされた時、「そんなことになっているのか?」との思いと、「いよいよ来たのか」という複雑な思いとが脳裏をよぎりました。そんな数値の悪化などまったく思わせない娘の元気な様子。

「今、家族としてやれることは・・・」「元気な今、海外に行こう。」

家族はヒューマンに提案しました。きっと驚かされたことと思います。

その後は、ヒューマンの皆様がこのコロナ禍の中、たくさんのサポートをしてくださり、私はひたすらアドバイスに従い追いつくのみ。

本当にスタッフの皆様にはお世話になりました。

そしていよいよ、韓国(ソウル)にレッツゴーです。

げっと GET!

◎1日目(2022年10月30日)

咲は6時半起床。いつも昼の12時過ぎても起きないことが当たり前なのに。



「わかっているんだなー」との思いです。

羽田で、同行の2人のヘルパーさんと合流。時間まで空港内を楽しみ、飛行機に搭乗。

飛行機内では、初海外ということで、プレゼントをもらいました。JAL素敵。

飛行機を降りる時には、CAさんに一緒に写真をお願いしたら、機長さんも一緒に

入ってくれて感激!

旅の現地での準備、そして案内をしてくれる雅恵さん(韓国のCILで活躍されている

方)と会えてよかった。

今まで、メールでいっぱいお世話になっているから「やっと会えた」と気持ちが昂る。

ソウルの自立生活センターの所長さんも空港まで迎えに来てくれました。

ホテルにチェックインし、すぐに夜のソウルへ繰り出しです。

雅恵さんからは、予定としては、疲れているだろうから、食事は出前を予定していました

が、咲の夜好き・キラキラ好きを雅恵さんにお伝えし、夜のソウルに繰り出し。しっかり焼き肉を食べました。

◎2日目(10月31日・晴れ)

民俗村観光。さすがに咲は起きず。雅恵さんが用意してくれた、リフトバスの中ではゲーゲー。民俗村に着き、リズムの激しい踊りと音楽に咲はノリノリで楽し気。

次は、踊りの場所から離れて、高めの舞台に上がり、笛の演奏を聞くことに。ここでハプニング。舞台の床に隙間があり、母のコートのひもが挟まってしまう。

舞台の下に潜り込み、雅恵さんのコンコン合図で場所確認し、紐をはずそうとするが、まったくできない。その時立派な体格の男の人が、一緒に床の下に潜り込んでくれ、紐外しをしてくれる。笛の演奏が終了してもその男の人が、外しを続けて成功。「何ともないよ」というサラリとした表情。周りの人が、牧師さんであることを教えてくれる。とても優し



くさりげない様子に感動でした。

ソウルで優しさに出会いました。

私たちみんなほっこりです。でもなんであんなところに入っちゃたんだろうね。みんなで大笑い感激のシーンでした。

時間ギリギリまで動き、ホテルの中で夜ご飯。咲はなんとカップラーメン完食です。

民俗村にて

◎3日目 (11月1日・朝は霧・晴れの予感)

今日もリフトバスのお迎えでソウル市内へ
大韓帝国歴史館は大きな敷地の中、秋の木々は赤・黄色・緑と美しく、のんびり歩きました。その後、出発前日に起きた大きな事故(154人が亡くなったハロウィンの圧死事故)の犠牲者に献花させていただいた後、昼食へ。
今日の昼食はちょっと豪華にコース料理。咲はほとんど食べきっていました。

おなか一杯になって、市場に買い物。とても面白かったです。かき氷もおいしく食べました。

夜も更けてきて、ソウルタワーへ。一般のバスにも乗る機会があり、自動リフトに感激。でもソウルの冬は寒いから凍ってしまって使えないんだって。それじゃ困るよね。どこでも困ったことがあるね。

タワーの演出はよかったよ。展望の一つ前では、窓の部分が宇宙のような映像と音楽。なんだかまったり。展望は遠くまで見えて「へ～こんな町なんだ」きれいでした。

今日も夜遅くなったし、昼食がしっかりだったので、「軽めにね」ということで、セブンイレブんに。カップのご飯を咲はしっかり完食です。



まさえ ひだり 雅恵さん(左)と
しーあいえるしよちょう みぎ ヤンチョンCIL所長のキムさん(右)

◎最終日 (11月2日・いよいよ帰ります。まだいたいな～)

今日もバスがお迎えに来てくれました。ありがとうございました。運転手さんとも一緒に写真をとりました。

ソウルの街を走って金浦空港へ。ソウルの街ともお別れ。ソウルは高いビルがいっぱいでした。40階・50階? ペンシルビルがいっぱい。(人口密度すごいだらうな)日本とは全く違った景色でした。

空港で雅恵さんとお別れ。準備からずーとお世話になった雅恵さん。さりげなくそばに寄り添っていてくれて、困った状況だと察知するとスーッとそばに来てくれて。本当に素敵な方でした。お別れするのがつらかった。

帰りの飛行機、咲は眠りっぱなし。「はい終わりました」という感じ。
入国の手続きが結構面倒でしたね。

はじ かいがいりょこう さき なん どう た いんしょう
初めての海外旅行。咲は何にも動ぜず。しっかり食べて「たくましい」という印象をさら
かくにん
にの確認でした。



ほんとう こんかい りょこう みな
本当に今回の旅行は皆さんにありがとうございます。
さき にづく たいへん おも どう
咲の荷作りも大変だったと思います。そして同
こう
行をしてくれたヘルパーさんありがとう。母まで
めんどう み
面倒を見ていただきました。

かたがた りょこう
たくさんの方々のおかげで、旅行をすることが
ひさ さき じかん
できました。久しぶりに咲との時間ももしっかりも
つことができました。

ほんとう
本当にありがとうございます。

とくすぐん
ソウル徳寿宮(トクスグン)にて



さきお じゅんぴ かん
咲緒さんの 準備のサポートをして感じたこと

じぜん こうくうがいしゃ と あ かん しる
事前の航空会社への問い合わせのサポートをして感じたことを記します。

くるま しょうがいしゃ かいがいりょこう じ こうくう くるま つ こ いらい しゅつぱつ
車いすの 障害者の海外旅行時には、空港で 車いすの積み込み依頼や、出発ゲートまで
じぶん くるま つか じぜん こうくうがいしゃ しんこく
自分の 車いすを使いたいなど、事前に航空会社に申告しておくことがいくつかあります。

くるま りょうしゃ わたし じしん りょこう ばあい じょうき てん さきお
車いす利用者である 私自身が旅行する場合は 上記2点ほどですむのですが、咲緒さんの
ばあい 「胃ろう」をしていることもあり、「栄養剤のラコール」や「食物を砕くブレンダー
きないも こ きないしょく えんぶんせいげんしょく しんこくないよう たき わた
ー」の機内持ち込みや、機内食を「塩分制限食」にするなど、申告内容が多岐に渡りまし
けつろん きやくしつも こ か きやくしつも こ ふ か きないも
た。結論として、ラコールは 客室持ち込み可、ブレンダーは「客室持ち込み不可、機内持
こ か えんぶんせいげんしょく おーけー
ち込み可」でした。「塩分制限食」もOKでした。

とうしょ こうくう と あ かいしゃ してい しんだんしょ ていしゅつ もと
当初アジアナ航空にも問い合わせをし、会社指定の診断書の提出を求められましたが、
じゃる にほんこうくう しんだんしょ もと せんぼう こま からだ じょうたい き
JAL(日本航空)からは診断書は求められず、先方から細かく身体の状態を聞いてくれ
きない からだ むね じゅんぴ もう で しょう しゃ たい
て、機内での身体をサポートする胸ベルトの準備を申し出てくれるなど、障がい者への対
おう しんせつ かん
応はとても親切で、こなれていると感じました。

けつきよくおうふく じゃる りょう しょう しゃ たい たいおう こうくうがいしゃ
結局 往復JALを利用したのですが、障がい者に対する対応は、まだまだ航空会社によ
さ じっかん
って差があるんだなあ実感しました。

つつみ
【堤】



ひとり な
たった一人で亡くなって
いたのぶちゃんへ
ついでう ば ば のぶ こ
追悼・馬場信子さん

つつみ あいこ
堤 愛子

よこはま
横浜にて

さくねん おお なかま な ほんしえむえいちえぬ ついでうぶんの
去年は、多くの仲間たちが亡くなり、本誌MHNニュースにも追悼文を載せてきました。
ひとり かいじん ば ば のぶ こ きょうねん さい さくねん がつ すいてい な
もう一人、会員の馬場信子さん（享年60歳）も昨年7月（推定）に亡くなっています。
すいてい しご げつた はっけん れんらく と けい
（推定）としたのは、死後2か月経ってから発見されたためです。連絡が取れなくなり、警
さつ つうほう わたし はっけん おそ しん ふめい
察に通報したのは私です。発見が遅かったこともあり、死因は不明です。
ご せいしき みもとかくにん だび ふ がつすえ みな ほう
その後、正式に身元確認され、茶毘に付されたのが11月末だったため、皆さまへのご報
こく おそ
告が遅くなってしまいました。

● コロナ禍で奪われた楽しみ

ば ば つうしょう えむえいちえぬ だいす
馬場さん（通称のぶちゃん）は、MHNのイベントが大好きでした。
はなみ しょきばら まいつき えむ さんか
お花見や暑気払い、毎月のほっとカフェMなどにもよく参加していました。
さんか しゅうりょうじこく しゅうりょうご
「参加」はするのですが、いつもイベント終了時刻ギリギリ（ときには終了後）になって
すがた あらわ ゆうめい えむ しゅうりょうじ さんかしゃ
姿を現すことで有名でした。ほっとカフェMでは、終了時に参加者から、
「これからのぶちゃんが来るかもしれないので、お菓子を取っておこうね」
い しゅうかん
と言ってくれるのが習慣になっていました。
おく と かし た つくえ まわ
遅れてきたのぶちゃんは、取っておいてもらったお菓子を食べて、スタッフの机を回っては
しゃべ たの
お喋りを楽しんでいました。
かのじょ かみ めん てき ぶくろ も
彼女はスーパーなどでくれる「オマケグッズ」（紙のお面や、手提げ袋など）をたくさん持
てきて、スタッフに配り歩いていました。スタッフたちの喜ぶ顔を見たり、お喋りしたり
くば ある よろこ がお み しゃべ
することが大好きで、本当に楽しそうでした。
だいす ほんとう たの
そんな彼女の楽しみは、コロナ禍により一変しました。イベントは中止になり、ほっとカ
えむ ず む さんか
フェMもZoomになったため、参加できなくなりました。

●「私は絶対に大丈夫だから、通報しないで!!」

コロナ禍になってから、ときどき「約束したのに連絡がない」ことがあり、2回ほど警察に安否確認の通報をしましたが、そのたび彼女は元気に部屋から出てきました。

昨年さくねんの5月がつ、2回目かいめの通報後つうほうごに、

「私は絶対に大丈夫だから、もう、警察に通報はしないで!!」

と強く言われ、そのことがその後の私の気持ちに躊躇を生み、発見を遅らせた一因にもなっています。思い出すと、今でも心が痛みます。

のぶちゃんは、軽い知的障害があり、10代の頃は作業所勤めなどもしていました（個人的には、その当時からお付き合いが続いていました）。

10数年前から生活保護を取り、町田で一人暮らしをしており、私は「愛の手帳」の再申請（愛の手帳は20歳で更新手続きが必要）をして福祉とつながることを、何度も勧めていました。週1回でもヘルパーに来てもらえたら、部屋の掃除や行政の手続きなどもそれなりにできたとし、仮に亡くなっても、2か月も発見されないなどということはなかったと思います。が、彼女はガンとして手帳の申請を拒否していました。

●福祉の利用は「恥」ですか

私は、日本にはそれなりのセーフティーネットや福祉サービスがあると思っています。

ただ本人がそれらを利用することを拒否していた場合、どうすることもできません。「福祉制度」やそれに伴う「手帳取得」に対しては、世の中にまだまだ「恥ずかしいこと」という価値観があり、彼女もまた、その価値観を内在させていたような気がします。

のぶちゃんは私にとって身近な存在ただだけに、「何もできなかった自分」にすごく無力感を感じています。

のぶちゃん

あなたが発見された日、暗くなりかけた空を背景に、

2人のレスキュー隊員があなたの部屋の窓にハシゴをかけて登っていく姿が、

今も焼き付いています。

亡くなっているなんて思ってもいなかった私は、

男の人が部屋に入っていく…私、またのぶちゃんに

「なんで通報したの」って怒られる…とビクビクしていたんだよ。

「私は絶対に大丈夫」という言葉を、信じていたんだよ。

のぶちゃん

ようやくコロナ禍が明けたよ。

これから徐々に、イベントも復活させていこうと思っています。

終了間際に飛び込んでくるあなたの姿を見られないのは、すごく寂しいです。

あちらの世界では、おっちゃん(2代目代表の木下洋二)や、みぎちゃん(昨年亡くなった川上裕美さん)と再会して、楽しくお喋りしていますか?

私が行くまで、皆で待っててね。

のぶちゃんのご冥福を、心よりお祈りいたします。



ひめじ 姫路にて

2017/10 おつかれさま会にて



りようしゃぶらすあるふあこういゆうかい ほうこく 利用者 + α 交流会 報告

★11月24日(木) おでかけ&おしゃべりバージョン

久しぶりにせりがや会館に集まって、お菓子をつまみながらおしゃべりをしました。残念ながら開催日が近づくにつれてコロナの感染者が急増し、急遽Zoomと会場を繋げての開催に変更。参加者は少なかったものの、和気あいあいとじっくり話が出来ました。やっぱりリアルに会えるのは嬉しいものです。

★12月24日(土)

スタッフ含めて7名の参加で、一年の終わりにふさわしく「今年の一文字」というテーマで盛り上がりました。参加者から、乱(らん)、改(かい)、別(べつ)、希(のぞみ)、健(けん)、安(あん) 皆さんそれぞれ個性的ですね。

★2023年1月26日(木)

この日は、参加者5名。参加者の方々に、2024年3月でIL部門及びまちだやを閉める方向で動き出していることを説明しました。最終的には理事会、総会を経ての決定となりますが参加者の皆さんからご意見をいただきました。

- 誰が悪いわけではないが、納得いくまで時間がかかる。今後は、いまいるメンバーで参加できる場所をみんなで作りたい。
- 辞めて欲しくない。私たちに何か出来ることがあれば一緒にやりたい。
- 2024年度になってからどうなっていくのか、分からないことがあります。

今後も、皆さんが、不安に思うことやどうしていきたくを出し合いながら、継続して話し合っていきたいと思っています。

★2023年2月25日(土)

この日は、参加者4名。初めに、来年度の下半期頃から、コーディネーターが入って継承していきたいと考えている事を説明し、今後やりたいことなどを出し合いました。

健全者スタッフが参加することに関して、賛否両論の意見をいただきました。

<今後やりたい企画について>

- コロナが5類になったら、対面で集まりたい!
- グランベリーモール、アリオ、駄菓子屋などお出掛け
- ヘルパーを入れて生活していくなかでのモヤモヤを語ろう
- 介護保険制度(65歳問題、2号被保険者の問題)について
- 町田市は、2023年度に差別解消条例を作成する予定。みんなで傍聴に行く

以上のご意見をいただきました。





エンジョイ自立!をサポートしてくれる仲間を募集中です。
 やりがいのあるお仕事を通して一緒に成長しませんか?



※撮影の為、マスクを外しております。

募集要項

- 時給ヘルパー(日中単価)1,375円~(介護福祉士はプラス50円)
- 同性介助 ■勤務時間応相談 ■未経験者歓迎 ■交通費あり
- 週20時間以上の勤務契約で社会保険加入 ※詳細はお問い合わせ下さい

特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク  042-724-8599
<https://www.cil-mhn-enjoy.com/> 東京都町田市原町田2-22-26-1F

お友達紹介 キャンペーン

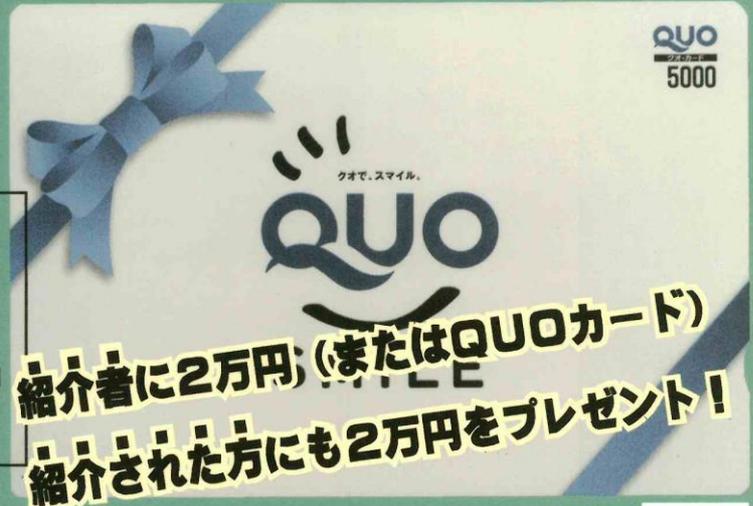


あなたの周りにいませんか？

障害を持つ人の地域生活・自立生活を
支えてくださるヘルパーさんが不足しております。
自立生活や介助の魅力をお伝えいただき、
ヘルパーさんとして働いてくださるお知り合いをご紹介ください。



20,000円分



【紹介アピールポイント】

- ①時給1,375円～(介護福祉士は+50円)
- ②週に20時間以上継続して働いてくださる方には
社会保険 & 期末手当(実績で2ヶ月分以上)
- ③無資格・未経験・学生さん歓迎
【3日間(20時間)の研修で資格が取れます(無料)】
- ④同性介助なので安心して働けます。
- ⑤HPIに介助の紹介動画やQ & Aを掲載しています。

対象者：紹介者はMHNの会員・利用者・介助者の方に限ります。

紹介料：紹介者に2万円、被紹介者にも2万円をプレゼント

(介助者の場合は給与とともにお振込み、紹介者が介助者以外の場合は2万円分のクオカード)

条件：採用された方が特定の利用者宅で研修開始～3ヶ月間稼働後(その後も安定稼働が見込める場合)紹介料をプレゼントいたします。



お問い合わせ: 042-724-8599

町ヒューマンネットワーク
MHN

まちだひゅーまんねつとわーく うご
M H N の動き 2023年3月16日～6月15日

ていきかいさい きさい しょうりやく しゅさいこうさ
定期開催のため記事を省略している主催講座

おや かげつ かい
○親サポ オンゴーイング (3ヶ月に1回)

じゅうどほうもんかい ごじゅうぎょうしゃようせいけんしゅう つき かい
○重度訪問介護 従業者養成研修 (月1回)

○ピア・サポートグループ

(ピア・カウンセリング講座修了者の継続クラス・現在6週に1回)

てい りん えいかいぎ つき かい
○TIL運営会議 (月1回)

えむ つき かい
○ほっとカフェM (月1回)

りょうしゃぶらすあるふあこうりゅうかい つき かい
○利用者 + α 交流会 (月1回)



がつ にち もく あいえるびー しゅつせき まるやま さんか つつみ
3月16日 (木) I L Pリーダーズ (出席：丸山、参加：堤)

がつ にち すい だい かい えむえいちえぬりじかい
3月22日 (水) 第72回 M H N理事会



がつ にち きん てい りん そうだんしえん しゅつせき よしの
4月28日 (金) TIL相談支援サポートグループ (オンライン出席：吉野)



がつ にち もく しみんだいがく は っ つ ふくし さんか まるやま
5月18日 (木) 市民大学HATS「まちだの福祉」 (参加：丸山)

がつ にち つき まちだ し さべつかいしょうじょうれいけんとうぶ かい つつみしゅつせき
5月22日 (月) 町田市差別解消条例検討部会 堤出席

がつ にち もく まちだちいきそうだんしえんじぎょうしょうこうりゅうかい かいかん しゅつせき つつみ まつばら
5月25日 (木) 町田地域相談支援事業所交流会 コメント会館にて (出席：堤、松原)

がつ にち にち だい かい えむえいちえぬりじかい
5月28日 (日) 第73回 M H N理事会

だい かい えむえいちえぬりそうかい
第25回 M H N総会

がつ にち か まちだ ししょう しゃし さくすいしんきょうぎ かいそうだんしえんぶ かい つつみしゅつせき
5月30日 (火) 町田市障がい者施策推進協議会相談支援部会 堤出席



がつついたち もく しみんだいがく は っ つ ふくし くるま たいけん くるま しょうしゃ けいけんだん
6月1日 (木) 市民大学HATS「まちだの福祉」～車いす体験と車いす使用者の経験談～

まちだししょうがいがかくしゅう こうし まるやま まつばら たまさわ なべくら
町田市生涯学習センターにて (講師：丸山、松原、玉澤、鍋倉)

利用者 + α 交流会 これからの予定

だい もくようび きすうづき だい どうようび ぐうすうづき こうご かいさい
 第4木曜日(奇数月)と第4土曜日(偶数月)に交互に開催します。

かいさい
 オンライン開催です。

がつ にち もく
 7月27日(木) 14:00~
 がつ にち ど
 8月26日(土) 14:00~
 がつ にち もく
 9月28日(木) 14:00~

りようしゃ せいがいじんしょうがいしゃ たいしょう
 ヘルパー利用者と正会員障害者が対象です。パソ
 コン・スマホがあるのにメールで招待状が来ていな
 いという方がおられたらご連絡ください。健康
 情報、便利グッズ、おでかけ情報など、気になるこ
 とをちょっと深掘り。取り組みの話もします。ご
 意見あればメール・電話などでお寄せください。

たんとう ふくしま つつみ
 担当：福島・堤

ほっとカフェM よてい これからの予定



げんそく かいさいよてい ようい
 原則オンライン開催予定(パソコンなどを用意

できない人は相談してください)。

の もの た もの じゅんび
 飲み物・食べ物はそれぞれでご準備ください。

カフェという名のおしゃべりイベントです。

だれでも参加できます。

にちじ がつ にちどうようび
 日時 7月15日土曜日 14:00~
 にちじ がつ にちどうようび
 日時 8月19日土曜日 14:00~
 にちじ がつ にちどうようび
 日時 9月16日土曜日 14:00~

きほんまいつきだ い どうようび
 ※基本毎月第3土曜日 14:00~

たんとう よしの まるやま つつみ
 担当：吉野・丸山・堤



へんしゅうこうき 編集後記

いっさくねん こんごう ついとうぶん の き かい おお
 一昨年~今号まで、追悼文を載せる機会が多かった
 と思います。コロナが5類となり、世の中が落ち着き始
 めています。今後は明るく、希望のある記事が掲載でき
 ることを願います。昨年の今頃と比べ、寒暖の差が激し
 い気がします。皆様充分にご自愛ください。

へんしゅうたんとう まつばら
 編集担当 松原

まちだ 自立生活センター 町田ヒューマンネットワーク

とうきょうと まちだしはらまちだ えふ
 〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 1F

でんわ ふあつくす
 TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

ゆーあーえる いーめーる
 URL <https://www.cil-mhn-enjoy.com/> E-MAIL mhn89@nifty.com

しょうがいしやせいかつしえん でんわ いーめーる
 障害者生活支援センターまちだや TEL 042-724-8616 E-MAIL mhn-machidaya@mbr.nifty.com

ヘルパーステーション・マイライフ TEL 042-721-5044

がつ かげんざい
 (6月8日現在)

せいがいじん めい
 正会員 179名
 さんじよかいじん めい
 賛助会員 17名
 だんたいかいじん だんたい
 団体会員 7団体

ねんかいひ せいがいじん えん さんじよかいじん えん かいひふりにみきき かにゆうしやめい とくていひえいりかつどうほうじん まちだ ゆうびんふりかえこうざ
 年会費 正会員3000円 賛助会員1口1000円から 会費振込先/加入者名:特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク 郵便振替口座:00130-4-539920

発行所 東京都世田谷区祖師谷三―一―一七―一〇二
 障害者団体定期刊行物協会 領価百円